

笑顔あふれる街に

山形エリアマネジメント協議会

一ノ瀬絹子 さん



「街なかにお店を出したいのですが…」。山形市中心市街地への出店をお手伝いする“やまがた街なか出店サポートセンター”でスタッフを務め、今年で3年目となります。インターネットなどの通信販売での買い

物や、郊外の大型店と県外への買い物客の流出などにより、山形市の中心市街地でも空き店舗数が増加傾向にあり、商業機能の活性化は重要な課題となっています。

平成29年1月より、山形市中心市街地活性化戦略本部において今後の中心市街地における将来ビジョンを示すための検討を重ね、平成31年2月に「山形市中心市街地グランドデザイン」が策定されました。具現化していくためには、商店街や民間事業者等と連携し、事業をより強力に推進していくことが必要不可欠なことから、推進体制として、新たなまちづくり組織「山形エリアマネジメント協議会」が設立されました。出店サポート事業は、協議会の基幹事業として運営し、新規創業・出店希望者に向け、中心市街地の概況や空き店舗の情報、融資や補助金制度等の紹介支援に取り組み、開所以来約250名の方にお越しいただき、実際に出店

いただいた相談者は約50名となりました。

物件情報については、月に一度行っている空き店舗調査や、提携不動産事業者からいただく情報をもとに、相談者の事業内容に合わせて紹介しております。中心市街地においては9月末時点で総数835物件に対し147の空き店舗がありますが、立地や広さ、家賃などの条件面が合わず、実際の出店につなげることが困難な場合も多々あり、継続した出店サポートを行っています。

そのような中においても、令和元年度までは一定の出店が見られ、空き店舗率が減少傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、特に出店のトレンドとなっていた飲食業界への影響が大きく、中心市街地全体で52件の出店があった令和元年度から、令和2年度には29件と半減しました。今年度に入り半年が経過した今、出店件数については回復しつつあり、飲食業以外にも生活関連サービスなど新たな業種の出店も多く見られるようになりました。

コロナ禍で経済が打撃を受ける中、これまで出店支援させていただいた事業者や、創業・出店をされたいと相談にお越しになられる方々の「今だからできること」「この先の未来にこそできること」を見据え、困難をチャンスに変えようと前向きに歩まれる姿を拝見し、たくさんの勇気をいただきました。そして事業者の皆様へのチャレンジを支え、不安や悩みに寄り添うことができるよう、自身のスキルアップを図り、各支援機関の皆様と連携を深め「創業・出店するなら、山形市！」と願っていただけのような気運の醸成に努めていかなければならないと強く感じているところです。

商いをされる方、創業したい方、おひとりおひとりの挑戦や活力、笑顔こそがこの街の将来・未来そのものであり、そのような皆様のお役に立つことで次世代へまちをつなぐことが協議会の使命であると考えております。今後も、山形市中心市街地の活性化に向け、魅力的な商業の形成によるエリアの価値向上のために邁進して参りますので、よろしくご厚意申し上げます。

〈やまがた街なか出店サポートセンター〉山形市本町2丁目ニーズビル1F ☎665・0362